

H3C iMC UBA 7.3 (E0506P02)

リリースノート

本書のいかなる部分も、New H3C Technologies Co.,Ltd.の事前の書面による同意なしには、いかなる形式または手段によっても複製または変更することはできません。

本ドキュメントの情報は、予告なく変更されることがあります。



内容

バージョン情報	2
バージョン番号	2
バージョン履歴	2
バージョンの互換性マトリックス	2
制限事項および注意事項	2
バージョンの更新	5
iMC UBA7.3 (E0506P02)	5
ソフトウェア機能のアップデート	5
新しいデバイスのサポート	5
新しいカードまたはモジュールのサポート	5
iMC UBA7.3 (E0506P01)	5
ソフトウェア機能のアップデート	5
新しいデバイスのサポート	5
新しいカードまたはモジュールのサポート	5
未解決の問題と回避策	6
解決された問題のリスト	7
iMC UBA7.3 (E0506P02)で解決された問題	7
iMC UBA7.3 (E0506P01)で解決された問題	7
ソフトウェアのアップグレード	8
制限事項およびガイドライン	8
前提条件	8
iMCのバックアップ	8
iMCのパッチ適用	10
アップグレード障害後のiMCの復元	11
情報問い合わせ先情報	12

バージョン情報

バージョン番号

このリリースノートは、iMC UBA 7.3 (E0506P02)バージョン用です。

バージョン履歴

表1 バージョン履歴

バージョン番号	リリース日	備考
iMC UBA 7.3 (E0506P02)	2019-04-30	なし。
iMC UBA 7.3 (E0506P01)	2018-12-27	なし。

バージョンの互換性マトリックス

バージョン互換性マトリックスでは、アップグレード可能なバージョンとは、このパッチバージョンにアップグレードできるバージョンまたは互換性のあるバージョンです。

表2 バージョンの互換性マトリックス

項目	仕様
アップグレード可能なバージョン	iMC UBA 7.3 (E0506) iMC UBA 7.3 (E0506P01)
互換プラットフォームのバージョン	iMC PLAT 7.3 (E0702)
オペレーティングシステム	Windows Server 2012 KB2836988 (64ビット) Windows Server 2012 R2 (64ビット) Windows Server2016 (64ビット) Red Hat Enterprise Linux Server 7.3 (64ビット) Red Hat Enterprise Linux Server 7.4 (64ビット)
ブラウザ	IE10またはIE11 Firefox 50以上 Chrome 44以上

制限事項および注意事項

データベーススペース

- iMCインストールディレクトリとNTAデータベースディレクトリが1つの論理ディスクにない場合、インストールディレクトリはデータベーススペース管理によって監視されません。

オペレーティングシステム

- UBAサーバー時刻を広範囲に変更することはできません。新しい時刻が現在の時刻より前の場合は、データが正しくない可能性があります。そうでない場合は、データ遅延が発生する可能性があります。
- Linux 5.xのインストールプロブ中に、インストーラはgccを呼び出してコンパイルします。gccパッケージがインストールされていない場合、インストールは失敗します。インストールについてはインストールガイドを参照してください。
- インストール後にログファイル監査ツールを正しく実行するには、32ビットJREがローカルシステムにインストールされていることを確認します。
- プロブは、Linux 6.1またはLinux 6.4オペレーティングシステムにのみインストールできます。
- プロブを停止するには、stopProbe.shスクリプトを使用します。

インストールと導入

- すべての配布NTA/UBAサーバーの共有データベースIPアドレスは同じである必要があります(特にIPアドレスが多いサーバーの場合)。共有データベースIPアドレスを持つ配布NTA/UBAサーバーは、配布されたオーダーに対してオーダーとともにアンインストールする必要があります。2つのNTA/UBAサーバーデプロイメント間でiMCサーバーを起動してください。
- プロブは、物理サーバーへのインストールのみをサポートします。
- 次の配置で下位iMCサーバー上のUBAサーバーが正しく動作するようにするには、プライマリiMCサーバー上でiMCサービスが停止していることを確認します。
 - iMCシステムは分散モードで展開され、共有データベースを使用します。
 - iMC UBA7.3 (E0505)以前がシステムに配置され、Network Behavior Analyzer Serverが下位サーバーに配置されている。

データベース

- ユーザーunba_slaveとunba_dataのパスワードを変更する場合、両者は同じである必要があります。

レポート

- iMCレポートには次の制限があります。
 - Device Application Summary ReportおよびDevice Interfaces Traffic Summary Reportを設定するページで、存在しないデバイスと統計情報の収集時刻を入力すると、データベース接続エラーが表示されます。
 - VPN Flux Detail Analysisを有効にして、1つ以上のVPNタスクを追加し、レポートをエクスポートします。レポートの最後のページにデータがない可能性があります。
 - レポートチャートのY軸ラベルは、Firefoxでは縦スタイルではなく横スタイルで表示されます。
 - Word形式でレポートをエクスポートする場合、Y軸ラベルが完全には表示されないことがあります。
- iMCページチャートには、次の制限があります。
 - トレンドグラフでは、グラフコントロールにより、時間範囲に基づいてX軸に表示される時間が自動的に決定されます。その結果、X軸の最後の文字が完全に表示されない場合があります。また、トレンドグラフに凡例に対応するカーブを表示しないように構成した場合、Y軸は現在の領域に表示できません。
 - 円グラフに表示されるアイテムが多すぎると、異なるアイテムの値が重なったり、完全に表示されない場合があります。
 - 傾向グラフでポイントが多すぎる場合、または線が近すぎる場合は、ヒント情報がページに表示されないことがあります。
- iMCプラットフォームでデバイスIPアドレスが変更された場合は、それに応じてNTAスケジュールレポート設定を変更して、正しいデバイスインターフェイストラフィック要約レポートおよび単一インターフェイストラフィック要約レポートを生成します。

ブラウザ

- iMCによって推奨されていないブラウザを使用すると、UBAページでスクリプトエラーが発生する可能性があります。推奨されているブラウザを使用してください。

特権

- NTA/UBA構成権限を持つオペレーターグループには、Traffic Analysis and Audit-SettingsのSettings権限が必要です。

バージョンの更新

iMC UBA7.3 (E0506P02)

ソフトウェア機能のアップデート

追加された機能

なし。

削除された機能

なし。

変更された機能

なし。

新しいデバイスのサポート

なし。

新しいカードまたはモジュールのサポート

なし。

iMC UBA7.3 (E0506P01)

ソフトウェア機能のアップデート

追加された機能

- トラフィック分析タスク設定ページのしきい値アラーム設定領域の重大度パラメータが設定可能になりました。必要に応じて、しきい値違反に対して生成されるアラームの重大度レベルを設定できます。
- NTAデータソースデバイスのsFlowインタフェースリスト上の個々のインタフェースに対するsFlowサンプルレートの構成のサポートが追加されました。
- Maintainerには、デバイス管理モジュールでデバイス設定を編集する権限が付与されました。

削除された機能

なし。

変更された機能

なし。

新しいデバイスのサポート

なし。

新しいカードまたはモジュールのサポート

なし。

未解決の問題と回避策

問題1SSD63867

- 症状:カスタマイズされたSMTP監査タスクでSMTPログをフィルタリングできませんでした。
- 状態:SMTP監査タスクをカスタマイズします。
- 回避策:SMTPログ監査機能を使用します。

問題2:SSD082046

- 症状:オンラインユーザの照会に失敗することがあります。
- 状態:UBAがRESTインタフェースを介して別のiMCシステムのUAMと連携する場合。
- 回避策:なし。

問題3 201706010548

- 症状:左側のナビゲーションツリーでページへのリンクをクリックすると、NTAからエラーが報告されます。
- 状態:この症状は、左側のナビゲーションツリーでリンクをクリックしてNTA構成ページを開こうとしたときに発生することがあります。
- 回避策:なし。

解決された問題のリスト

iMC UBA7.3 (E0506P02)で解決された問題

なし。

iMC UBA7.3 (E0506P01)で解決された問題

なし。

ソフトウェアのアップグレード

次の情報では、汎用パッチのインストール手順のみを説明します。iMCのインストール手順および詳細なアップグレード手順の詳細は、配置シナリオのiMCの配置を参照してください。

制限事項およびガイドライン

パッチのインストール中にエラーが発生した場合は、データを復元してから、アップグレード手順を繰り返してパッチをインストールします。問題が解決しない場合は、H3Cサポートに連絡してサポートを受けてください。

パッチのインストール後は、システムをロールバックできません。

前提条件

このバージョンにアップグレードするには、次のいずれかのバージョンが実行されていることを確認してください。

- iMC UBA 7.3 (E0506)
- iMC UBA 7.3 (E0506P01)

アップグレードを成功させるためのベストプラクティスとして、アップグレードソフトウェアパッケージをアップグレードするサーバーのローカルファイルシステムにダウンロードします。リモートファイルシステムからアップグレードする場合、接続の喪失などの問題によりアップグレードが失敗することがあります。

iMCのバックアップ

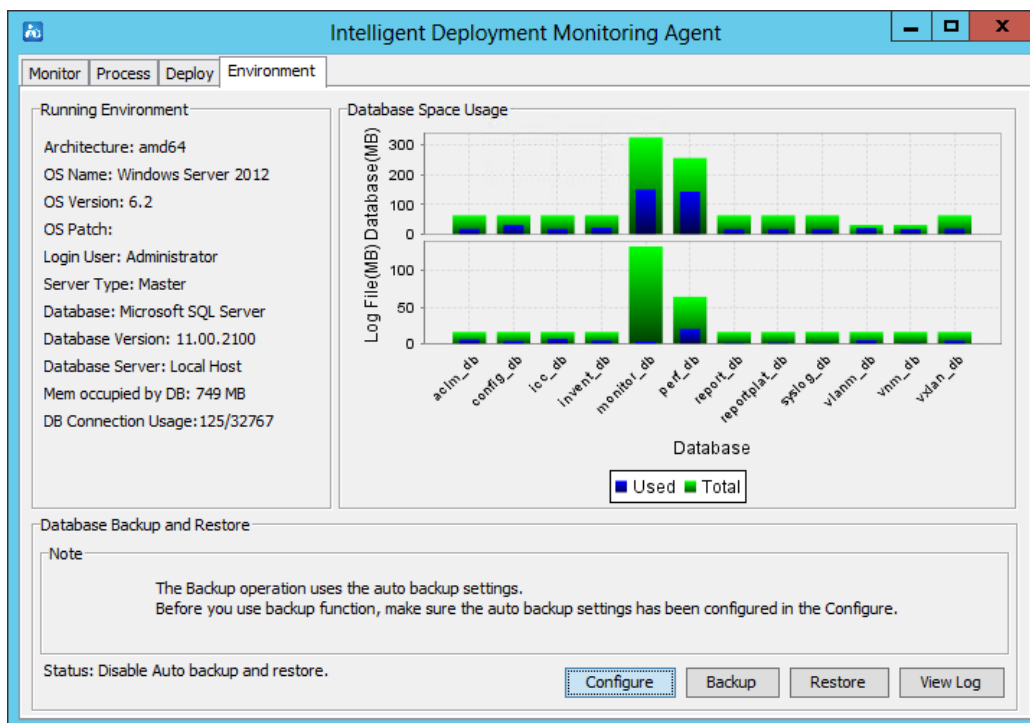
アップグレード前にiMCをバックアップして、ソフトウェアのアップグレードが失敗した場合の迅速なデータリカバリおよびソフトウェアダウングレードを可能にします。

1. EnvironmentタブのBackupをクリックして、デプロイメントモニタリングエージェントからサーバー上のデータベースをバックアップします。

分散配置環境では、マスターサーバー上でこの手順を実行します。

リモートデータベースを使用する配置でデータベースのバックアップに配置監視エージェントを使用するには、リモートデータベースサーバーにエージェントをインストールする必要があります。

図1 デプロイメント監視エージェントからのiMCのバックアップ



2. iMCインストールディレクトリ全体をバックアップ用の新しいディレクトリにコピーします。
分散配置環境では、マスターサーバーとそのすべての下位サーバーでこの手順を実行します。

注:

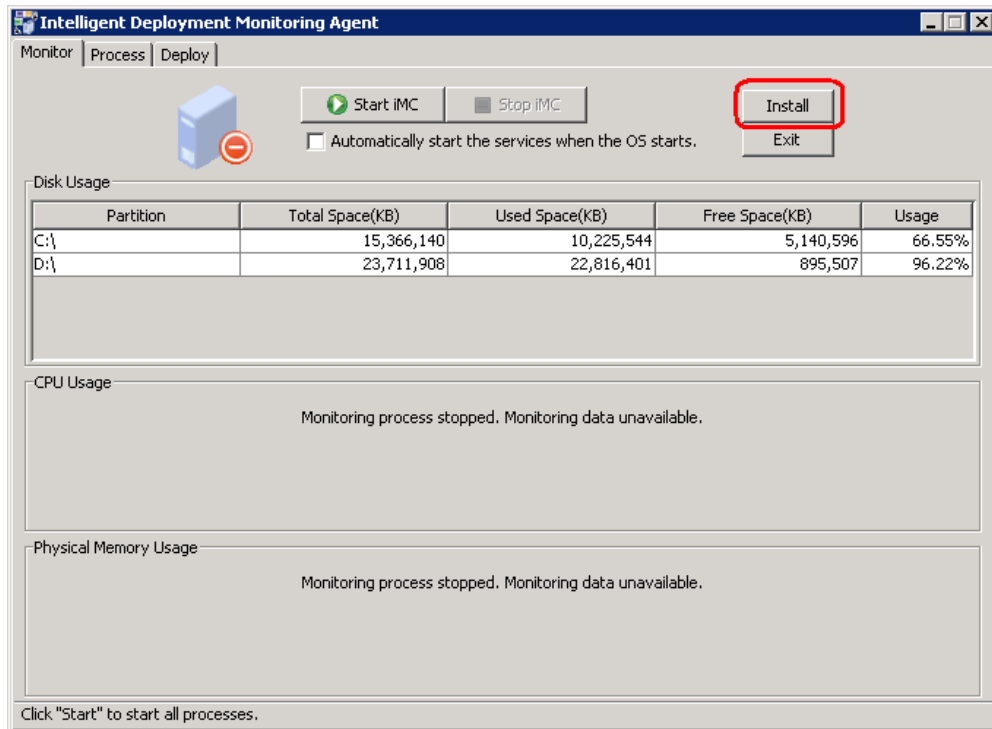
iMCフェイルオーバークラスタの場合、アップグレード手順を実行する必要があるのはアクティブノードのみです。バックアップノードは自動的にアクティブノードと同期します。

iMCのパッチ適用

分散配置では、マスターサーバーを使用してパッチのインストールを開始します。

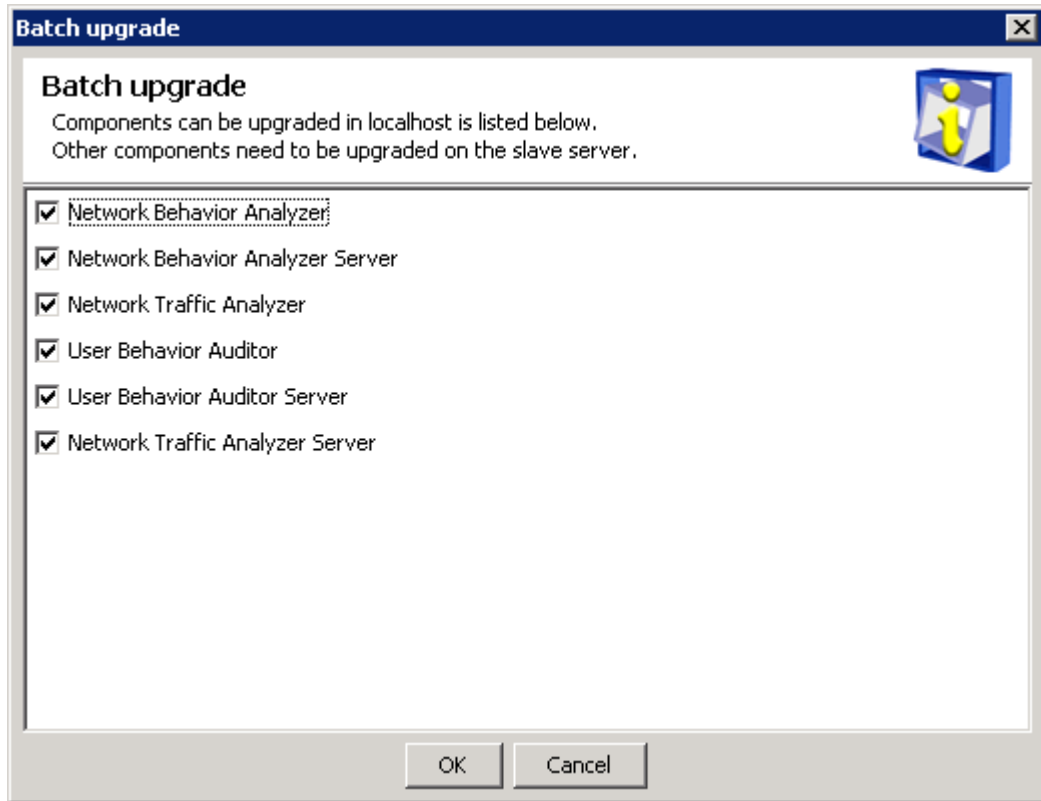
1. Intelligent Deployment Monitoring Agentで、MonitorタブのStop iMCボタンをクリックして、すべてのiMCプロセスを停止します。
2. Intelligent Deployment Monitoring Agentで、MonitorタブのInstallボタンをクリックして、新しいコンポーネントをインストールするためのページを表示します。

図2 Intelligent Deployment Monitoring Agent



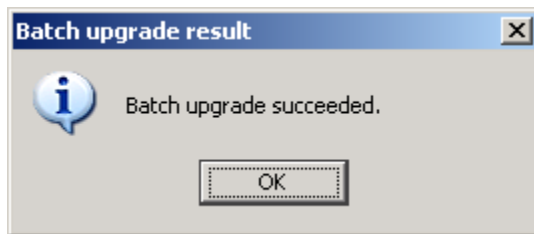
3. Browseをクリックして、iMCアップグレードファイルが保存されているディレクトリからコンポーネントのサブディレクトリを選択し、OKボタンをクリックして新しいNTAコンポーネントをインストールします。
4. NTAコンポーネントのインストール後、Intelligent Deployment Monitoring Agentを起動します。アップグレードが必要なコンポーネントが自動的に検出され、Batch upgradeウィンドウが表示されます。このコンポーネントのアップグレードを開始するには、OKボタンをクリックします。

図3 バッチアップグレード



- 一括アップグレードが成功すると、次のダイアログボックスが表示されます。

図4 バッチアップグレードの成功



- iMCが分散配置を使用する場合は、マスターサーバーのアップグレード後にすべてのスレーブサーバーにパッチを適用する必要があります。パッチの適用手順はマスターサーバーと同じです。
- アップグレード後、Intelligent Deployment Monitoring AgentのStart iMCボタンをクリックして、すべてのiMCプロセスを開始します。

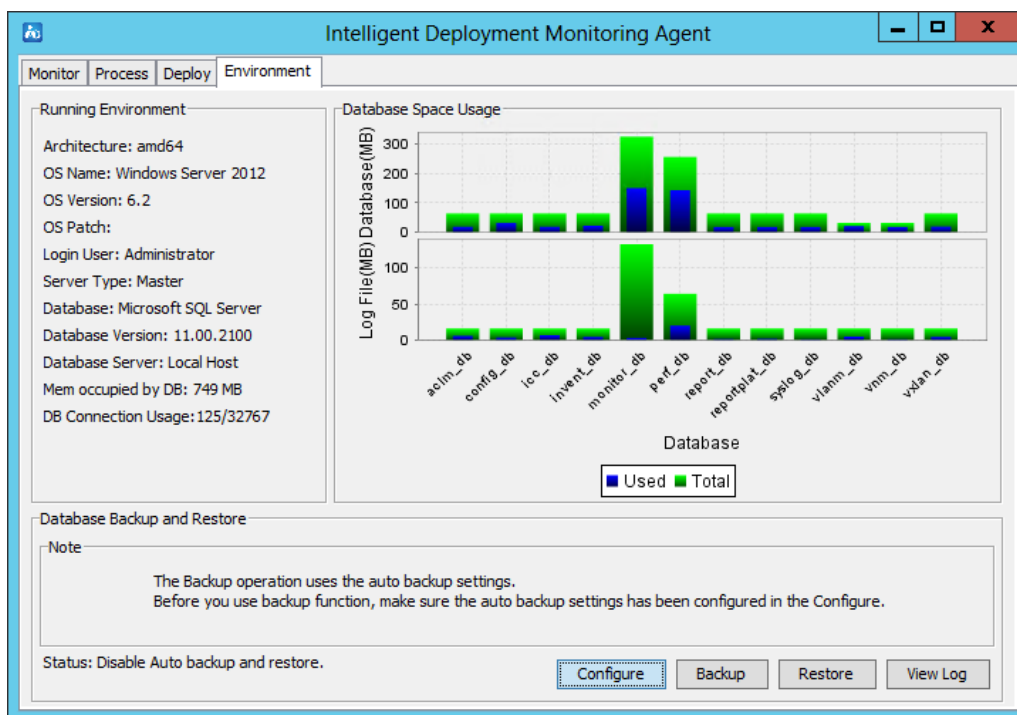
アップグレード障害後のiMCの復元

分散配置の場合は、マスターサーバーとそのすべての下位サーバーで復元手順を実行します。

フェールオーバーiMCクラスタの場合は、アクティブノードで復元手順を実行します。

- 展開監視エージェントのEnvironmentタブで、Restoreをクリックし、すべてのデータベースバックアップファイルを選択してiMCを復元します。

図5 iMCの復元



2. デプロイメント監視エージェントおよびH3C iMCサーバーを含むすべてのiMCプロセスを停止します。
3. iMCインストールディレクトリ内の内容を削除します。
4. バックアップiMCディレクトリを以前のiMCインストールディレクトリにコピーします。
5. 配置でリモートデータベースを使用する場合は、iMCサーバーでDBManユーティリティを使用してデータベースをリストアします。分散配置では、マスターサーバーでこの手順を実行します。

情報問い合わせ先情報

ご不明な点がございましたら、メール:service@h3c.comまでご連絡ください。